



## 放射線科医について

- CT や MRI の画像診断は誰がやっているの? - 顧問 平木 祥夫

レントゲン博士(ドイツの物理学者)がエックス線を発見してから110年余がたちました。エックス線は放射線の一種ですが、“放射線”と聞くと恐ろしいものという印象を受ける方もいるかも知れません。しかしこの間、放射線の利用によって医学、医療はめざましい進歩を遂げ、医療の内容も大きく変化しました。

この放射線を利用したCTや、磁気を利用したMRI等が身近な検査機器として利用されていますが、どのように診断されているのかご存知でしょうか。

病院の放射線科には、放射線科医と放射線技師がいて協力して仕事をしています。患者さんの撮影をおこなっているのが放射線技師で、放射線科医が診断専門医として画像写真の診断を行っています。

内科や外科などの医師が患者さんの症状や診察、血液などの検査から病気の診断をするように、放射線科の医師は画像写真から病気の診断を行います。現在の病院医療の現場では、患者さんの症状の原因を見つけ、病気の状態を知るには放射線科での検査が必要となることが大変多いのです。

放射線科では、単純エックス線(代表的なものとして、胸の写真、骨関節の写真など)から始めて、CTやMRI(いずれも身体の断面写真)など、様々な診断機器によりいろいろな検査を行っています。それぞれに長所と短所があり、効率良く、適切に使用しなければ時間と医療費の浪費になります。また高性能の画像診断機器は、専門医が的確に診断することにより、初めて十分な機能を発揮することができます。

三井病院では、画像診断を専門とする放射線科の医師が専任で常時勤務しておりますので、画像撮影が行われるとすぐに放射線科医によって写真診断がなされ、診断報告書を作成して内科、外科、その他の診療科へ送ることができます。その結果として、放射線科専門医の診断を基に診療科医師によるダブルチェックが行われ、

岡山大学名誉教授

顧問 平木 祥夫



よりの確な病気の診断、さらに最適な治療の選択をおこなうことができるのです。

このように、初期診断において治療方針を決める際には放射線科医は欠かせない存在となっています。

患者さんと直に接することが少なく、恐らく、一般の方々に知られていないのが現状ですが、このように放射線科医は病院の中で非常に大切な役割を果たしています。

## 肝炎ウイルス検査が始まります

県が肝炎専門医療機関(当院は指定を受けております)において実施する事業で、肝炎ウイルス感染の疑いのある方に対し、無料で検査を実施致します。岡山市・倉敷市に住所を有する方につきましては補助の対象とはなりませんので、無料では検査できませんのでよろしくお願いいたします。

下記の項目に該当する方は、お申し出下さい。

- 平成4年以前に輸血を受けたことがある、またはその可能性がある。
- 長期に血液透析を受けている。
- 非加熱血液凝固因子製剤や、平成6年以前にフィブリノゲン製剤(フィブリン糊としての使用を含む)の投与を受けたことがある、またはその可能性がある。
- 臓器移植を受けたことがある。
- 過去に肝機能異常を指摘されたことがある。

実施期間 平成20年1月23日~3月31日(4月以降実施予定)



## 特定健康診査が4月から始まります

特定健康診査とはメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した予防重視の健診で、将来に向けた生活習慣病の発症を予防し、今後の高齢化社会における医療費増大の抑制を目的に行われる健診です。

対象者は40歳以上75歳以下の被保険者および被扶養者になります。

なお、詳細については医療保険者(市町村国保、健保組合等)より連絡があります。

### 患者様の権利について

私たちは患者様の権利を尊重し、信頼関係を築き患者様中心のあたたかい医療の実践に努めます。

1. 患者様の意思を尊重し満足される医療を提供いたします。
2. 治療の説明を受け、選択や拒否ができるように致します。
3. プライバシーを尊重いたします。

### 病院理念

1. 21世紀における最も大切な人間の生活の質を向上させる医療を分担する。
2. 患者様に優しい医療、インフォームドコンセントを重視した医療を提供する。
3. 全職員が医療人としての使命感と誇りを持った医療を心掛ける。



## 眼科にヤグ・レーザー入りました！眼科医長 筒井 康子

白内障手術が無事に終了してよく見えるようになっていても、しばらくたってから視力が低下してくることがあります。その原因はいろいろ考えられますが、中でも比較的頻度が高くて、解決可能なものが後発白内障です。

後発白内障というのは、挿入した眼内レンズの奥の膜状組織が混濁して光を透しにくくなったものです。身体の創傷治癒過程の一種と考えられており、白内障の手術後なら誰にでも起こりうることなのですが、これが原因となって視力が低下してきた場合には、治療の対象になります。



この治療には、ヤグ・レーザーを使います。装置の前に座って特殊なコンタクトレンズを眼に当て、混濁した膜状組織に輪状に点々とヤグ・レーザーを照射して、組織を丸く切り取ります。顕微鏡を使って焦点をきっちり合わせるので、眼内レンズが入ったままでその奥の膜状混濁だけを除去できるのが非常に便利です。麻酔はコンタクトレンズを使うための点眼麻酔のみで、出血などは全くありません。もちろん、入院の必要はなく、その日のうちに帰宅できます。

ヤグ・レーザーは、網膜光凝固術に用いるレーザーとは全く違う種類のレーザーで、組織を破壊する力が強いです。それで、狭隅角緑内障に対する虹彩切開術にも使うことができます。この場合手術に必要な時間を大幅に短縮することが期待されます。

玉野三井病院眼科には、平成 19 年 4 月からこのヤグ・レーザーが導入されました。きっと患者の皆さんの治療のお役に立てることでしょう。

ヤグ・レーザー照射前



ヤグ・レーザー照射後



## 睡眠時無呼吸症候群と生活習慣病

臨床検査技師 高津 昌吾

睡眠不足が心や身体に良くないのは、皆さんも経験から良くご存知かと思います。睡眠の障害には、自覚のある不眠症とは別に、不眠の自覚の無い病気もあります。この代表的な病気が睡眠時無呼吸症候群です。



症状としては、就寝中にいびきをかいたり息が度々止まること、自覚的には日中の眠気や熟睡感の無さ、高血圧などがあげられますが、気が付かないことが多いのも特徴です。睡眠の障害による日中の眠気は、労働災害の危険率を 2 倍に、交通事故を 7 倍に押し上げます。また、度重なる呼吸停止は、心筋梗塞などは 3 倍、脳梗塞などは 4 倍の危険性をもたらします。さらに最近では、糖尿病や肥満、高脂血症の危険因子や増悪因子であり、生活習慣病に強く関わっていると言われてています。



このように良い睡眠を取ることは生活習慣病予防の第一歩ですが、睡眠時無呼吸症候群についての詳細な診断・治療ができるのは、県内でも数施設しかありません。玉野三井病院ではスタッフ一同熱心に取り組んでおり、経験を積んだ医師が診断・治療にあたり、睡眠学会認定技師がこれをサポートしています。先の症状にあてはまる方や、ご家族にそのような方がいらっしゃいましたら、ぜひとも一度受診されることをお勧めします。

放っておけば、夜間知らない間に、種々の病がいびきとともに忍び寄ってきます…。

## 後期高齢者医療制度が4月から始まります

20 年 4 月現在で 75 歳以上（一定の障害のある人 65 歳以上）の方は、新しい保険証が発行されますので、4 月になりましたら 1 番の窓口にご提示下さい。

## お知らせ

薬についてのお問い合わせは、当院薬剤科（薬局）までお願いします。

## お願い

通勤、他社への商用等、当院に御用のない方の駐輪はご遠慮願います。尚、長期駐輪の場合は張り紙にてお知らせのうえ、お申し出が無ければ撤去させていただきますのでご了承願います。

